



情報通信で豊かな日本を目指す

国際戦略局技術政策課
革新的情報通信技術開発推進室長

井出 真司 IDE Shinji

- 平成 13年 4月 総務省採用
- 同 総合通信基盤局電波部電波政策課
- 平成 13年 9月 同 情報通信政策局技術政策課
- 平成 15年 8月 同 総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課
- 平成 16年 7月 同 総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課事業振興係長
- 平成 18年 7月 米国留学(ジョージタウン大学)
- 平成 20年 7月 総務省総合通信基盤局電波部移動通信課
新世代移動通信システム推進室室長補佐
- 平成 22年 7月 同 情報通信国際戦略局技術政策課課長補佐
- 平成 24年 8月 同 情報通信国際戦略局通信規格課課長補佐
- 平成 25年 6月 外務省在ジュネーブ国際機関日本政府代表部一等書記官
- 平成 28年 7月 総務省情報通信国際戦略局通信規格課標準化推進官
- 平成 29年 9月 同 国際戦略局通信規格課標準化推進官
- 平成 30年 8月 同 国際戦略局技術政策課課長補佐
- 令和 元年 7月 国立研究開発法人情報通信研究機構経営企画部シニアマネージャー
- 令和 2年 7月 同 経営企画部統括
- 令和 3年 7月 総務省総合通信基盤局電波部移動通信課
新世代移動通信システム推進室長
- 令和 4年 7月 現職

総務省の仕事の魅力

5G、インターネット、AIなど総務省が所掌する情報通信分野は、変化が非常に激しく、その変化に合わせて政策を作り出す必要があります。総務省の情報通信政策に携わる魅力は、新しいビジネスやサービスを生み出そうとする企業や有識者など様々なステークホルダーの方々と議論を重ねながら、新しい政策、技術、ルールを作り上げ、日本のみならず世界にも影響を及ぼしていくことのできる仕事のスケールの大きさ、ダイナミックさにあると感じています。

情報通信は世界とつながることが必須であり、情報通信そのものがグローバルです。私はこれまでに2年間の米国留学、3年間の在ジュネーブ日本政府代表部における海外勤務も経験しました。ジュネーブでは日本政府の窓口として、情報通信の国際標準化を担う国際電気通信連合（ITU）や各国政府などとの調整や交渉を担当するとともに、本省における業務では、各国政府と議論し、日本の情報通信技術の国際標準化を目指した、外国政府との国際共同研究の枠組みの創設を担うなどグローバルな業務にも数多く携わりました。

情報通信で日本をより豊かに

日本では2020年に5Gの導入が始まりましたが、世界では2030年代の社会・経済の基盤となる、5Gの次のネットワークであるBeyond 5G/6Gの導入に向けた国際的な研究開発競争が激化しています。

日本は天然資源が少なく、世界で稼げる産業を育て、雇用の確保や生活を豊かにしていくことが必須です。情報通信インフラであるBeyond 5G/6Gの研究開発やその成果の導入において日本はやるべきことが多くあります。

また、ネットワークにおける通信量も急増しており、今後、何も対策を取られなければ、2050年には通信インフラにおけるエネルギー消費量は500倍超となるとの試算もあります。

日本が持続可能な成長をし続けるためには、これらの課題に対応し、日本の産業基盤を強化するとともに、環境問題にも対応できる通信インフラを実現することが急務となっています。

これらを踏まえ、総務省では、令和4年度に関係法令を改正し、日本の国際競争力の強化を目指したBeyond 5G/6Gの研究開発の支援を可能とする研究開発基金を創設したところです。

今後、どのようにしたら日本が世界に伍していけるか、基金を活用した具体的な取り組みについて企業や有識者と議論を重ねています。

明るい日本、元気な日本を実現していくために、情報通信の果たす役割はたくさんあると考えています。皆さん、総務省でぜひ一緒に議論し、新しい日本を作っていきましょう。



ITU理事会に参加する筆者

技術系行政官の責務

今から約30年前に出版された「攻殻機動隊」（士郎正宗、講談社、1991）。当時、インターネットはまだ黎明期で、作中では実空間とサイバー空間との融合がフィクションとして描かれていました。この融合が今リアルなものとして進展し、AIも取り入れて新たな価値を創出していることは、皆さんご存じのとおりです。

この例に限らず、ICT分野では新たな技術が社会の高度化を駆動していますが、技術だけで社会が最適に変革していくわけではありません。我々技術系行政官は、ビジョンを描き、その実現のため、技術を目利きして育て、社会に実装するという、技術と社会を繋ぐ重要な責務を担っています。

広がる活躍領域

私は現在、サイバーセキュリティ政策を担当しています。実空間とサイバー空間との融合により創出される新たな価値は、経済的目的や地政学的背景から行われるサイバー攻撃の格好の標的ですが、我が国のサイバーセキュリティを強化し、こうした脅威に

対抗するため、サイバー空間のインフラを支える通信事業者や研究機関等と緊密に連携して、多層的な施策を講じています。

ICT分野を所管する総務省だからこそ求められる情報を取り扱い、制度、技術開発、人材育成など、あらゆる政策手段を動員しますので、外部からの期待とプレッシャーも大きな仕事ですが、このような責任を担えることは大きなやりがいにつながっています。

我が国の姿を描く

総務省のキャリアパスでは、ICT分野に軸足を置きつつ、多様な経験を得られます。私自身、これまで総務省内で、技術政策や競争政策、国際政策など多くの領域に携わってきました。また、出向先では外交の最前線に立ち、我が国の「国の形」を一層強く意識させられました。このように多様性と専門性をバランスよく磨き、それらを礎として、成長の原動力となるICT分野から我が国の姿を描きます。

「攻殻機動隊」のラストシーンは、「ネットは広大だわ……」という台詞で閉じられます。約30年後の今日、サイバー空間には、当時想像されたであろうスケールを遥かに超えた可能性が広がっています。

この可能性を活かして、今度はこれから30年後にどのような我が国の姿を実現するか、皆さんと共に議論し、挑戦できることを楽しみにしています。



府省庁対抗サイバー攻撃対処競争技会で総務省チームとして優勝



出向中、スリランカ大統領訪日の際に実施した官邸での署名式



フィクションを超えたリアルな世界で

サイバーセキュリティ統括官付
参事官付参事官補佐

河合 直樹 KAWAI Naoki

- 平成 23年 4月 総務省採用
- 同 情報通信国際戦略局技術政策課
- 平成 25年 7月 同 情報流通行政局情報流通振興課情報セキュリティ対策室調整係長
- 平成 27年 8月 同 総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課企画係長
- 平成 29年 7月 外務省国際協力局国別開発協力第二課
- 平成 29年11月 同 国際協力局国別開発協力第二課主査
- 平成 31年 1月 同 国際協力局国別開発協力第二課課長補佐
- 令和 2年 8月 総務省総合通信基盤局電気通信事業部金サービス課課長補佐
- 令和 4年 8月 現職